

9 令和6年度 かねやまホーム居宅介護支援事業所事業報告

《基本事項》

介護が必要となられた要介護者に、適切な介護サービスを提案し活用していただくことで、生活に対する不安を少なくし、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援する。

要介護者の尊厳保持につながるよう、行政機関や医療機関、サービス事業所や家族と連携し支援する。

《重点事項》

1. 自立生活の実現

- ① ご本人の思いや望む生活の実現に向け、体調や環境の確認をし、適切な介護サービスを提案し援助する。

ご本人、ご家族の意向を確認しながら、地域性や生活歴を考慮し、ご本人が望む生活に近づけることができるよう関係機関と協力しながら援助することができた。ご家族の意向が先走りしないよう、ご本人のお気持ちもきちんと確認し、双方の納得のいく形でのサービス計画の作成に努めた。

- ② サービス事業所や家族と連携し、悪化予防と現在出来ていることが継続となるよう援助する。

早めの対応を心掛けたが、体調の悪化により、早急にサービス利用につなげなければいけないご利用者や、重症化して自宅での生活の継続が困難となり施設入所に至ったケースもあったが、新規にサービスを利用することで、改善できたケースも多かった。

2. 医療との連携

- ① 病状については医療機関と情報を共有し、適切な介護サービスの調整活用により、体調の維持と悪化予防につながるよう援助する。

多職種連携情報システム「バイタルリンク」の活用で、ご利用者の情報を医療、介護従事者よりリアルタイムに共有する事ができ、体調維持と悪化予防の援助にあたる事ができた。

- ② 入退院時には在宅での介護サービス利用状況等の情報を伝え、病状や状態の情報を医療機関よりいただき、介護サービスの調整を行い、在宅生活への不安を少なくできるよう援助する。

入退院時の情報を共有し、退院後もスムーズにサービスにつなげる事ができた。ご自宅での看取りのために退院されるご利用者もおられ、サービス事業者との連携で、穏やかな最期を迎えて頂くこともできた。

3. 信頼関係の構築

- ① 感染対策の意識を持ち、訪問時間の短縮や手指消毒を実施し、体調管理を行う。ご利用者・ご家族の健康保持に努める。

常に感染対策の意識をもちながら、体調管理に努めた。また、ご利用者、ご家族の健康状態を確認しながら、体調不良の時は早急に対応する事ができた。訪問先のご利用者の体調不調が、新型コロナウイルス感染によるものも多くあったが、居宅事業所内の感染や、他の事業所への感染拡大はなく経過できた。

- ② 複雑なケースが増えているが、電話連絡を有効に活用し、訪問時間の短縮に努め、丁寧な援助ができるように支援する。

月々の総件数は、目標の80件に届かなかったが、困難ケースや緊急対応等のケースが増えており、調整に時間がとられた。困難ケースについては、ご利用者、ご家族の話を聞き、課題を確認しながら、関係機関と連携しながら援助にあたった。

訪問時間の短縮のため、電話による対応を行ったが、ご利用者もご家族も高齢であるケースが多く、電話ではうまく伝えられないこともあった。

また、介護者が入院等で緊急に利用しなければならない方が増えたが、サービス事業所の協力を得ながら、臨機応変に対応できた。

- ③ 昨年行った職員の接遇に関する満足度調査の結果をふまえ、分かりやすい説明を心掛け、ご利用者やご家族の意向をきちんと確認し援助する。

パンフレット等を活用し短時間でわかりやすく説明するように心がけ、ご利用者やご家族の意向を確認し援助する事ができた。

また、介護支援専門員へ対応に対し、貴重なご意見を頂く機会があった。中には、担当の介護支援専門員の変更の要望もあり、迅速に対応したことで、ご利用者、ご家族との信頼関係を築く事ができた。今後は、専門職としての自覚をもち、対応していかなければならない。

4. 事務処理業務の適正化

- ① ご利用者、ご家族、関係機関との対応調整に係る時間については、事務処理時間を意識しバランス良く関わることで、業務時間の適正化な配分を目指す。

支援対応調整に関わる時間については、事務処理を意識し、時間内に対応できるよう意識して関わったが、複雑なケースの場合、必要以上に訪問時間がかかってしまったケースもあり、事務処理が後回しになってしまい今後の課題となった。対応するご利用者の状況に合わせて、対応方法を変えるなど、色々な技法により援助できるよう、職員のレベルアップにつなげていかなければならない。

- ② 光熱費や燃料の経費削減を意識し、経費節約につながるよう業務にあたる。訪問地区の調整や時間配分を行い、光熱費や燃料の経費削減につながるよう、意識し業務にあたる。

事務所内の光熱費については、常に意識して対応した。地区毎に訪問を集約して実施、ガソリン代の削減につなげる事ができた。

サービス計画立案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1・2	61	61	62	58	56	57	56	56	51 (1)	51	53	52	674 (1)
要介護 3～5	18	21	23	25	26	21	24	24	23	21	21	22	269
合計	79	82	85	83	82	78	80	80	74 (1)	72	74	74	943 (1)

計画立案件数の内()内は利用実績なし

サービス計画立案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1・2	61	61	62	58	56	57	56	56	51 (1)	51	53	52	674 (1)
要介護 3～5	18	21	23	25	26	21	24	24	23	21	21	22	269
合計	79	82	85	83	82	78	80	80	74 (1)	72	74	76	945 (1)

計画立案件数の内()内は利用実績なし

介護認定訪問調査実施数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0